

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

中央公園周辺地区

平成25年3月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	環境学習事業に対する参加	百人/年	0	20	30.1	確定 見込み ●	○	あり なし	34.4	H23年4月	○	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	到津の森公園の施設整備に加え、平成22年度から1日学習プログラムが5館連携となり、1日学習プログラムへの参加者数が回復したことが参加者全体の増加につながった。
指標2	施設利用者数の増加	万人/年	34.0	38.0	39.2	確定 見込み ●	○	あり なし	39.0	H23年4月	○	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平成21年度に目標値を上回り、達成。到津の森公園の施設整備を実施したことにより、到津の森公園を中心に周辺の魅力が向上したため、施設利用者数が増加した。平成22年度、気象条件に恵まれなかったこと、口蹄疫や鳥インフルエンザの影響などから利用者数が減少してしまった。
指標3	市民の満足度調査	%	39	50	41.0	確定 見込み ●	△	あり ● なし	44.0	H23年12月	△	全体の満足度は上昇傾向であり、一定の整備効果は得られた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	日陰・休憩施設については”日陰の休憩場所、お弁当を食べる場所、座って休める場所・ベンチがほしい”、レストラン・売店については”メニューを増やしてほしい、価格を下げてほしい、美味しいものをおいてほしい”という意見が挙がっており、これらへの対応を図っていくことが求められる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	到津の森公園に関する満足度調査	%	-	/	99.6	確定 ● 見込み	/	/	-	H 年月	/	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標2	福祉公園の利用者数	百人/年	96.6	/	160.1	確定 ● 見込み	/	/	264.9	H23年5月	/	- <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	身体障害者と健常者が共に使える施設の充実、見通しのよい空間整備等により公園利用の幅が広がり利用者が増加している。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために行う方策 	市民のニーズに対応した公園の施設整備による安定した利用者数の確保	・花苗や樹木の充実を図ることで、動物だけでなく自然をも楽しめる公園として維持管理面での向上を図った。	・来園者から自然の管理がこれまで以上に良くなっているとの評価を得られた。	・年代によって到津の森公園へ来園する目的が異なることから、様々なニーズに対応した公園整備を進めていきたい。
	地区内の回遊性を高める公園や施設を結ぶ周辺道路、公園園路などの充実	・隣接する県立公園の管理者と管理や利用に関する協力方法について協議、検討した。	・具体的な方策の決定には至っていないが、サイン整備や回遊性を高める整備についての協力が得られることとなった。	・サイン整備の充実を図り、到津へのアクセス向上を図る整備を実施する。
	到津の森公園での市内5施設が連携した環境学習システムの利活用	・環境学習システムを継続して実施するとともに、学校、教育委員会に対して、過年度と同様、積極的に広報・PRした。	・広報・PRの結果、団体入場者数が増加した。	・今後も継続して広報・PRを実施するとともに、環境学習システムの内容を充実・更新する。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	到津の森公園の施設整備	・到津の森公園をより快適に利用できるよう、夏の暑さを和らげるミスト装置を設置するとともに、キリン、シマウマの常時展示ができるよう整備した。	・利用者の評判が良かった。	・市政モニターアンケート結果等もふまえ、日陰施設や休憩施設として、日陰の休憩場所、お弁当を食べる場所、座って休める場所・ベンチ等の設置についても検討を進める。
	到津の森公園の運営やソフト面の充実	・到津の森公園内のレストランが評判があまり良くないため、ホットドッグなどを販売する移動販売車を導入した。 ・ホームページやロゴデザインを一新し、到津の森公園のイメージアップを図った。	・利用者の評判が良かった。 ・イメージアップの効果は今後現れてくるものと考えられる。	・アンケート結果等もふまえ、レストランの魅力を高めるため、メニュー、味、価格の改善を検討するとともに、柔軟な対応が可能な移動販売車の活用を続けていく。 ・新規動物の導入やその展示方法を工夫することで、園全体の魅力向上を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項